

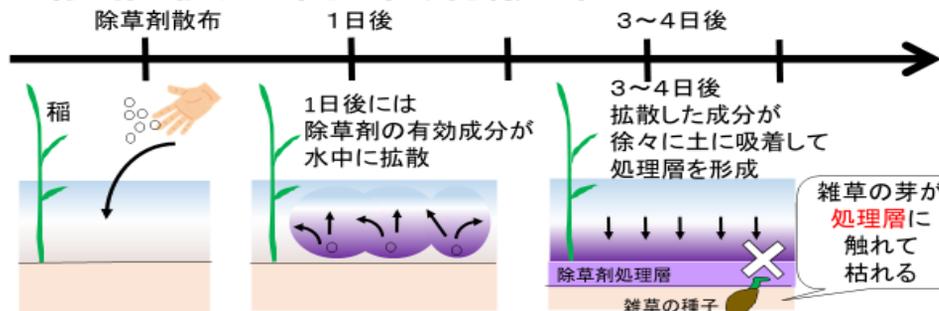
# 除草剤の剤型の種類・特徴をきちんと押さえられていますか？

おさらいも兼ねてチェック！

それぞれの剤型と特徴について

	ジャンボ剤	豆つぶ剤	フロアブル剤	1キロ粒剤
使用量	10パック/10a	250g/10a	500ml/10a	1kg/10a
散布方法	周辺から投げ込み	投げ込み、動力散布機、ドローン	水口・周辺散布、ドローン	動力散布機、田植同時
強み	投げ込みによる作業の省力化		周辺散布による作業の省力化	田植同時散布により田植後の作業削減が可能
	1個/1a分のため、散布計算がしやすい	ドローン散布が可能(フロアブルは専用の滴下装置が必要)		均一にまくため、藻等の影響が少ない
注意点	藻等が繁茂していると剤が広がらない 田が均平でないと剤の広がりが悪い、(代かきを丁寧に！) 強風により片方に吹き寄せられることがある			手散布の場合は労力がかかる
	散布機、ドローンによるドリフト(隣接田への飛散防止)			
いずれの剤型でも適切に散布しないと、思わぬ薬害や効果ムラが生じる恐れがある				

## 移植後の除草剤散布のポイント



散布方法もおさらい！



除草剤散布後、最低3日間(可能なら5~7日)は水を動かさないことがポイント！

水を入れない、水がなくなっても1日は我慢！

- ① 散布前には水をしっかりとためておく。(ジャンボ・豆つぶで5~6cm、粒剤で3~5cmがベスト！3日間水の心配ないくらいためておく)
- ② 散布後は土に薬効が吸着するまで水を動かさない！(土壌に吸着し処理層ができるのは散布3日後から！)

